

未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築

令和5年度目標：事業効果検証と「マイスター・ハイスクール」の自走化

2・3年
水産業や
地域の課題を
解決する

1年
ICT活用やDX、
水産業の6次産業
化と地域を学ぶ

全校
自己の生き方や
在り方を考える

水産資源科・資源育成コース

- ICTを活用したチョウザメ養殖の生産性向上
- アクアポニックスの生産量向上
- サケの発眼卵放流の継続と孵化後の経過観察



水産資源科・食品科学コース

- ICTを活用した品質管理のペーパーレス化
- 海洋高校アンテナショップを基点としたOMO実践
- 商品開発とそのマーケティング



海洋開発科・海洋技術コース

- 水産庁スマート水産業現場実装委員会の出前授業
- 漁獲物オンライン販売の継続と販売量向上
- 実習船オンライン授業の継続拡充



海洋開発科・海洋創造コース

- 弁天浜におけるマリンスポーツイベントの本格実施
- 水中ドローンによるもずく生育域マップの測量エリアの拡張



学校設定科目「地域探究」・水産科目「海洋情報技術」



地元金融機関による授業



世界ジオパーク学習



マリンスポーツ体験



地元企業インターンシップ



ビジョンを取り入れた授業



海洋情報技術検定受検

ウェルビーイングの視点で生き方・在り方を考える「マイスター・ハイスクール進路講話」

様々な外部講師の生き方・在り方を学ぶ講話を通して、他者と良好な関係を築きながら自己の能力を十分に発揮し、幸福（ウェルビーイング）である状態を追求していくことについて考える。（毎学期実施）



事業効果検証

- 「学びみらいPASS」（河合塾）の活用
生徒の変容を「リテラシー」「コンピテンシー」で追跡する。
- 「マイスター・ハイスクール自己評価アンケート」の活用
生徒の変容を自己評価（個人内評価）で追跡する。

これからも「未来を担う海洋・水産プロフェッショナル」人材育成システムを改良し続ける体制・仕組みの検討。